

知床科学委員会しんぶん

河川工作物アドバイザー会議 No.19



「河川工作物アドバイザー会議」では、災害から生活を守りながらサケ類が遡上できるように、各専門家が行政機関に対して、ダムの改良工事やモニタリング等について科学的視点から助言をしています。しんぶんでは、その活動についての情報をお知らせしています。

平成24年度から実施している長期モニタリングの結果を踏まえ、評価項目「河川工作物による影響が軽減されるなど、サケ科魚類の再生産が可能な河川生態系

会議の内容について

① 長期モニタリングについて



▲室内会議の様子



▲羅臼川の改良砂防ダム視察



▲チエンベツ川の改良治山ダム視察

現地検討会では
第1次改良ダムを
視察したよ！



令和2年9月28日に、羅臼町の羅臼川、チエンベツ川、サシリイ川で現地検討会、9月29日に斜里町公民館ゆめホール知床において令和2年度第1回河川工作物アドバイザー会議を開催しました。

今回の会議

が維持されていること」について、個別のモニタリング項目ごとに適合か不適合か、さらに現在の動向が良い方向に向かっているかどうかを判断し数値化して評価した結果、現段階での評価値（最良は5）は、2.5（注視すべき状態）となりました。

② ルシャ川の取組みについて

① ルシャ川のダム改良

北海道は、昨年より改良工事に着手したルシャ川のダムに関する、最上流の第3ダムを幅40mで切下げを実施したこと、サケ類を遡りやすくするため最下流の第1ダムの堤頭部を改良したことを報告しました。

② ルシャ川のダム改良

北海道森林管理局は、ルシャ川の河床路は河口に近いため、11月から1月に海が荒れると河床路上流まで波浪が到達し、海からの流木が打ち上がることがあること、波浪により河口の土砂が移動し、河床路周辺の地形が変化していることを報告しました。



▲越波前の状況



▲越波時の状況

③ 第2次検討ダムについて

① オッカバケ川のダム改良

北海道森林管理局は、平成29年より、スリット化（部分的切下げ）の改良工事を行っている羅臼町オッカバケ川第2号ダムにおいて、現時点で3.5mの切下げを完了したこと、今年の冬までに残り0.5mの切下げを実施する予定であることを報告しました。また、第2号ダム下流にある第1号ダムの改良に向けて、増水時における河川形状の変化をシミュレーションする河床変動計算（IRC）を行っていることを報告しました。



▲オッカバケ川第2号ダム



ルシャ川第3ダム

ルシャ川の第3ダムの 切下げが完了！

斜里町イワウベツ川中流にある2基のダムの改良に向けて、ダム堤体強度試験、地形測量、産卵環境の調査を実施していることを説明しました。

② イワウベツ川のダム改良

ルシャ川第1ダム

ルシャ川の第3ダムは、昨年に左岸側の越流部を幅40m、高さ8.0mで切下げを行い、今年は残りの高さ1.7m部分の切下げを行いました。これにより、高さ2.5m、幅40mのダム切下げが完了しました。なお、第2ダムの切下げは令和3年、第1ダムの切下げは令和4年～6年の実施を予定しています。



改良工事後の川を見ると段差がなくなつたり、小さくなっているね。僕たちサケ類は段差が少ない方がスマーズに遡上できるんだ！



会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■ 問合せ先 ■

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター
〒099-4355
斜里町ウトロ東番外地（国設知床野営場内）
TEL : 0152-24-3466
FAX : 0152-24-3477

■ 発 行：林野庁北海道森林管理局
■ 制 作：株式会社 森林環境アライズ
発行日：2020年11月15日

